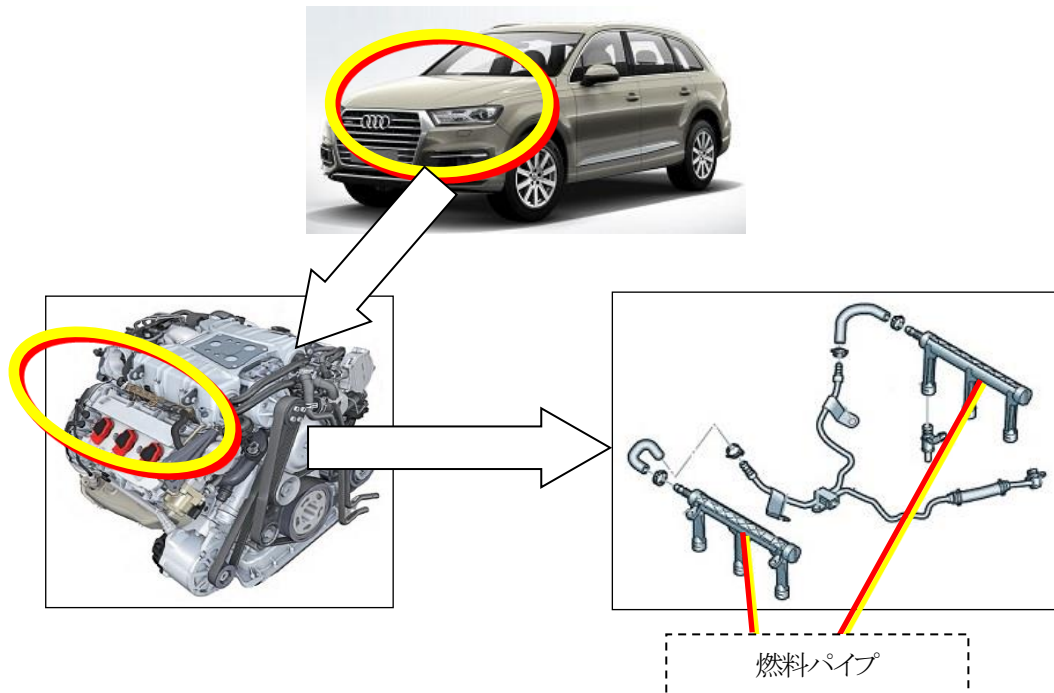


改善箇所説明図



注： は、交換部分を示す。

基準不適合発生箇所

燃料装置において、樹脂製燃料パイプ端部の設計時の強度検討が不十分なため、耐久性が不足している。そのため、走行振動等により、当該パイプ端部の樹脂製エンドキャップ部が破損し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料パイプを対策品に交換する。

識別：車両識別プレートの下側に、白色で直径5mm程度のマークを塗布する。

また、点検整備記録簿の該当欄に「日付、走行距離、ワークショップスタンプと担当者名、リコール：外-2818 燃料パイプの交換」と記入する。